

令和2年第4回福祉医療常任委員会 要点記録										
開閉会日時		令和2年5月18日(月曜日)		開会	9:55		会議場所		別海町議会 委員会室 2・3	
				閉会	11:39					
委員の出欠		2番 横田 保江	出席	4番 小椋 哲也	出席	7番 木嶋 悦寛	出席			
		12番 松原 政勝	出席	14番 佐藤 初雄	出席					
出席説明員	福祉部	福祉部長		福祉部次長		福祉課長		介護支援課長		
		今野 健一	出席	青柳 茂	出席	干場みゆき	出席	千葉 宏	出席	
		町民課長		保健課長ほか		老人保健施設事務長		訪問看護ステーション所長		
		青柳 茂	出席	干場 富夫	出席	竹中 利哉	出席	堀 留美	欠席	
		介護支援課主幹		地域包括支援センター長		居宅介護支援事業所長				
		高橋 勇樹	出席	九里 富恵	欠席	渡辺 久利	欠席			
		保健課主幹		保健課主幹		母子健康センター師長		福祉課主査		
		齊藤 晴美	欠席	畠澤みどり	出席	花川 純子	欠席	武田 妙子	欠席	
		福祉課主査		介護支援課主査		地域包括支援センター主査		町民課主査		
		澤田 憲一	欠席	松本 静香	欠席	大道 詳子	欠席	奈良 司	欠席	
		町民課主査		町民課主査		町民課主査		保健課主査		
		平下奈津子	欠席	橋本 達也	欠席	木幡 友哉	欠席	能登 麻奈美	欠席	
		母子健康センター主査		老人保健施設主査		保健課主任				
		大森 晴海	欠席	岩口 真紀子	欠席	佐伯 祐司	出席			
	別海病院	病院事務長		病院事務課長		病院事務課主幹		病院事務課主査		
		大槻 祐二	出席	小川 信明	出席	石戸谷友絵	出席	西田 和弘	出席	
	総務部	税務課長		税務課主幹						
		伊藤 輝幸	欠席	松田 勝広	欠席					
	委員外の出席		議長	西原 浩						
	事務局職員		事務局長	小島 実	事務局主事	庄司 孝子				
	傍聴者数		一般	0名	報道関係者	0名	合計	0名		
	会議に付した事件及び会議結果など									
	発言者		会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。							
	委員長 7 番 木嶋		9:55 開会							
			開会挨拶							
			出席委員 5名、欠席委員 0名、委員外 1名、会期 1 日							
		【町立別海病院に係る調査】								
病院事務長 大槻		挨拶及び経過報告								
		① 整形外科の診療について								
		② 看護師等の確保について								
		③ 神経内科の設置ついて								
委員長 7 番 木嶋		質疑								
副委員長 4 番 小椋		③ 担当医師は神経内科専任になるのか。								
病院事務長 大槻		③ 基本は一般内科の診療を行い、プラスして神経内科の診療も行う形態である。								
		③ 手続きの流れはどのようなものか。								
委員長 7 番 木嶋		③ 議会に条例改正を諮ったのち、保健所へ届出を行うこととなる。								
病院事務長 大槻		議事1 所管事務調査について								
委員長 7 番 木嶋		(1) 医師の確保及び病院経営の状況について								
		口頭により内容説明								
病院事務長 大槻		・ 現在決算処理中であるが、3・4月においては前年同月と比較して外来・入院ともに人数も収益も減少見込みであり、新型コロナウイルス関連の影響								

令和2年第4回福祉医療常任委員会 要点記録

	はまだしばらく続く見込みである。また、町内で患者が発生した場合には、さらに影響が見込まれる。
委員長 7 番 木嶋	質疑
委員長 7 番 木嶋	・ 新型コロナウイルス感染症対策について、引き続きよろしくお願ひしたい。
委員長 7 番 木嶋	議事2 その他
	(1) 新型コロナウイルスに対する病院の状況等について
病院事務長 大槻	口頭による報告
	・ 外来患者等における対策について ・ 入院患者等における対策について ・ 外来の休診等の状況について ・ 職員における対策について
	暫時休憩 10:08
	新型コロナウイルスに対する病院の状況等について自由討議
	再開 10:16
委員長 7 番 木嶋	質疑
	(質疑なし)
委員長 7 番 木嶋	議事2 その他
	(2) M R I 導入について
病院事務長 大槻	口頭による報告
	・ 公営企業会計のため、契約について議会の承認は不要な案件となっているが、高額案件のため、入札結果等について議会への報告を行っていきたい。
委員長 7 番 木嶋	質疑
副委員長 4 番 小椋	・ コロナ関連の影響で工期等の遅れの見込みはないか。 ・ 工期は2月下旬までの予定だが、今のところ遅れの見込みはない。
病院事務長 大槻	病院からの報告等について、他に質問等ないか。
委員長 7 番 木嶋	・ コロナウイルスに関わらずウイルス感染症予防に努めていれば、本来このくらいの外来受診者数で済むのではないだろうか？ ・ 先週の金曜日においては小児科の外来はほぼ患者がいなかった。また、電話による処方箋の受付を実施しているおかげもあり、外来患者についてはほとんどいない状態である。また、マスク着用の効果か、感染症患者がほぼいないという現状である。 ・ 町民の健康管理が機能しているということか。 ・ 今期のインフルエンザについてはどうだったか。 ・ ここ数年見たことがないくらい患者数が少なかった。 ・ 新型コロナウイルスが流行し始めてからは、インフルエンザの患者はほぼいない。感染症予防対策が効いているのではないだろうか。 ・ 病院の経営については厳しい状況であるが、感染症対策の効果が発揮されていると考えられる。引き続き感染症対策の必要性について発信してほしい。
委員 12 番 松原	
病院事務課主幹 石戸谷	
委員 12 番 松原	
委員長 7 番 木嶋	
病院事務課主幹 石戸谷	
病院事務長 大槻	
委員長 7 番 木嶋	
	休憩 10:25
	再開 10:35
	【福祉部に係る調査】
福祉部長 今野	挨拶及び本日の次第について説明
委員長 7 番 木嶋	議事2 その他
	(3) 東部地区高齢者介護施設の整備について
介護支援課長 千葉	資料により内容説明

令和2年第4回福祉医療常任委員会 要点記録

	・ 応募者がなかった理由としては、建設費の負担が大きく実施が厳しいとのことであった。今後の対応としては、補助要綱の見直しが必要と考えている。
委員長 7 番 木嶋	質疑
委員 12 番 松原	・ 建設費についても再考するのか。 ・ 事業者に聞き取りを行い、考えていきたい。 ・ 協議しながらやっていくということであるが、事業者は実施する意欲はあるのか。
介護支援課長 千葉	・ 前向きな意見をもらっていた事業者なので、詰めていきたい。
委員 12 番 松原	① 年度内に再度募集を行うのか。
	② 次期計画で実施するとすると道の補助金はまだ使えるのか。
介護支援課長 千葉	① 条件を整えてからの再公募となるため、まだ時間を要する。
	② 条件が整い次第、その時に利用可能な補助金を使っていきたい。
委員 14 番 佐藤	・ 町の補助の範囲については近隣の自治体と比較してどうなっているか。補助の範囲が少ないために今回応募がなかったという原因は考えられないか。 ・ 近隣に限らず道内外で調べた結果、今回は道費の2分の1を町で補助することと定めた。 ・ 前年度も今年度も応募がない。事業者は建設費の負担が難色を示す原因とのことであるが、今のまま解決しようとするとう町費が膨らんでしまう。本当に必要な施設であるならば、一度白紙に戻し、今の予算の範囲内でできることを考えていく必要があるのではないだろうか。今の報告を聞くと実施するという想定しかないように思われる。 ・ 再公募ありきということではない。内容を見直して協議していきたい。 ・ 地元からは必要という声も聞こえてきている。現存の施設を利活用するなど、様々なやり方があると思う。再度地元との話し合いの場をもつことや他の事業者についても確認することが必要ではないか。 ・ 見直しを含めて協議していきたい。 ・ 特養を運営している柏の実会には相談したことはなかったのか。 ・ 町内事業者はすべて内容説明を行ったが、応募はなかった。
福祉部長 今野	議事2 その他
委員長 7 番 木嶋	(4) 自殺対策の取り組み状況について
	資料により内容説明
福祉部長 今野	質疑
委員 12 番 松原	① 自殺対策の研修や講演会など、どのような周知を行っているか。
介護支援課主幹 高橋	② 80代以上の自殺者が増えているが、高齢者向けの対策はあるか。
委員長 7 番 木嶋	① 各所管において実施している。(施策については計画書に掲載している)
委員長 7 番 木嶋	② 高齢者対策についても福祉課において実施している。なお、モデル事業の経費を使いながら、地域等の要望に応じて活動している。
副委員長 4 番 小椋	・ 民生委員等と連携して対策を進めていくようなシステム作りが必要と思うが、どのように考えているか。 ・ 可能な限り多くのゲートキーパーを養成して、地域の見守りの強化に努めている。すぐに結果は出ないだろうが、今後、地域の見守り強化がなされると考えている。 ・ 別海病院に搬送された未遂者については病院と保健課の間で情報連携は可能なのか。 ・ 命に関わることなので問題ないと考えられるが、以前にトラブルになったことも
保健課主任 佐伯	
副委員長 14 番 佐藤	
保健課主任 佐伯	
副委員長 4 番 小椋	
保健課主任 佐伯	

令和2年第4回福祉医療常任委員会 要点記録

委員	12 番	松原	ある。 ・ 普段から付き合いのある周囲の者であっても、自殺の兆候を察するのが難しい。早く気づきケアするためにはどのようなことに注意すればよいか。 ・ 小さいけれど何かしらのサインは発している。不眠であったり、普段の生活の中の変化に敏感になってあげることが重要である。また、自死遺族をケアすることも非常に重要である。 ・ 自殺を図る方については何かしら心の病を患っていることが多いと思うが、病院に行くことを勧めても行かない、行けないという人も多いのではないか。また、本人が心の病に気づけていないのではないか。 ・ 自死者の98%は心の病を患っている。そのような方は精神科を受診することを拒否する人も多い。最初から精神科を受診するのはハードルが高いので、眠れない、体が痛い等の理由で他の診療科から受診し医療につなげることが大切である。 ・ ゲートキーパーの重要性から研修会を実施していると思うが、基幹産業である農漁協における研修状況について伺いたい。 ・ 別海町自殺対策協議会に加入している団体においては研修会を実施することになっている。農協においては昨年度実施し、今後も積極的に毎年実施していきたいとのことである。漁協においては職員の勤務体系からまとまった研修の時間を確保するのが困難であることが今後の課題であるが、研修会の開催については前向きである印象を持っている。 ・ 自殺対策については改めて調査して、委員会として今後も継続して取り組んでいきたい。 ・ 新型コロナウイルス感染症も含め、今の社会情勢からも様々なストレスが増え、自殺リスクが高まっている。対策の強化について考えはあるか。 ・ コロナウイルス関連では、「正確な情報の共有」が重要であると考えている。感染不安や自粛生活へのストレスについては保健センターの「心の健康相談」などを活用してもらえるよう周知していきたい。また、今後もモデル事業等活用して必要な対策を行っていきたい。
保健課主任		佐伯	
委員	2 番	横田	
保健課主任		佐伯	
委員長	7 番	木嶋	
保健課主任		佐伯	
委員長	7 番	木嶋	
副委員長	4 番	小椋	
保健課主任		佐伯	
委員長	7 番	木嶋	
福祉部長		今野	
委員長	7 番	木嶋	
委員長	7 番	木嶋	
福祉課長		干場	
委員長	7 番	木嶋	
委員長	7 番	木嶋	

- ある。
- ・ 普段から付き合いのある周囲の者であっても、自殺の兆候を察するのが難しい。早く気づきケアするためにはどのようなことに注意すればよいか。
 - ・ 小さいけれど何かしらのサインは発している。不眠であったり、普段の生活の中の変化に敏感になってあげることが重要である。また、自死遺族をケアすることも非常に重要である。
 - ・ 自殺を図る方については何かしら心の病を患っていることが多いと思うが、病院に行くことを勧めても行かない、行けないという人も多いのではないか。また、本人が心の病に気づけていないのではないか。
 - ・ 自死者の98%は心の病を患っている。そのような方は精神科を受診することを拒否する人も多い。最初から精神科を受診するのはハードルが高いので、眠れない、体が痛い等の理由で他の診療科から受診し医療につなげることが大切である。
 - ・ ゲートキーパーの重要性から研修会を実施していると思うが、基幹産業である農漁協における研修状況について伺いたい。
 - ・ 別海町自殺対策協議会に加入している団体においては研修会を実施することになっている。農協においては昨年度実施し、今後も積極的に毎年実施していきたいとのことである。漁協においては職員の勤務体系からまとまった研修の時間を確保するのが困難であることが今後の課題であるが、研修会の開催については前向きである印象を持っている。
 - ・ 自殺対策については改めて調査して、委員会として今後も継続して取り組んでいきたい。
 - ・ 新型コロナウイルス感染症も含め、今の社会情勢からも様々なストレスが増え、自殺リスクが高まっている。対策の強化について考えはあるか。
 - ・ コロナウイルス関連では、「正確な情報の共有」が重要であると考えている。感染不安や自粛生活へのストレスについては保健センターの「心の健康相談」などを活用してもらえるよう周知していきたい。また、今後もモデル事業等活用して必要な対策を行っていきたい。

議事2 その他について

(5) 新型コロナウイルス感染症対策の取組みについて

口頭による報告

- ① 特定健診については北海道の自粛要請が解除となれば、6月12日から16日の5日間で保健センターにて再開する。その際には感染予防策を徹底して実施する。
- ② 健康づくりのチラシの作成を行う。
- ③ 心の健康相談の活用のための周知強化を行う。
- ④ 寄贈された物資については福祉施設等に配布し活用していく。

質疑

- ・ 福祉牛乳の配布再開についての経緯を伺いたい。
- ・ 長期の自粛生活により高齢者等の暮らしに心配もあり、安否確認のために再開を決めた。また、町民からの問合せも多数あり、再開希望者も多かったため感染予防対策を強化して再開することとした。

閉会挨拶

11:39 閉会